



平成 28 年 2 月 15 日

各 位

会社名 株式会社 京都ホテル  
代表者名 代表取締役社長 福永 法弘  
(コード 9723 東証第二部)  
問合せ先 取締役経理部長 西川 治彦  
(TEL 075-211-5111)

### 中期経営計画に関するお知らせ

当社は、平成 30 年度に創業 130 周年を迎えるにあたり同年度を最終年度とする中期経営計画「ビジョン 130」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 策定の目的

当社は、国際観光都市である京都において 1888 年（明治 21 年）に創業し、2001 年には国際ホテルチェーンである株式会社ホテルオークラと業務提携契約を締結いたしました。2018 年度（平成 30 年度）に創業 130 周年を迎えるにあたり、当社の「価値」の最大化に向けて、以下の 3 点の深耕を図ることを策定の目的としております。

- ① お客様に最上級のサービスを提供し続ける。
- ② 株主、取引会社、取引金融機関、地元京都の関係諸団体等各ステークホルダーからの信頼を高める。
- ③ 従業員に対して自己実現の場を提供する。

#### 2. 中期経営計画ビジョン

#### 収益力の強化による財務基盤の安定化

- ① 収益性の高い事業への経営資源集中
- ② 閑散期対策の徹底
- ③ 施設競争力の強化
- ④ 人材の育成
- ⑤ 財務体質の改善

### 3. 取組事項

- ① 収益性が高い事業への経営資源集中
  - 収益性が高い事業へのシフト
  - 安定収益源である賃貸部門の強化
  - 収益性が低い事業の早期対応
- ② 閑散期対策の徹底
  - 海外を中心とした団体の取り込み
  - 季節限定商品の販売強化
  - 効果的なイベントの開催
- ③ 施設競争力の強化
  - 3年間で14億円の設備投資を実施
  - 京都ホテルオークラは、将来的に登録文化財ホテルを目指し設備メンテナンスを徹底
  - からすま京都ホテルは、客室・宴会場改修の早期実行
- ④ 人材の育成
  - ホテルオークラグループの育成ノウハウ徹底
  - 語学力の底上げ
- ⑤ 財務体質の改善
  - 3年間で17億円の有利子負債を削減
  - 3年間で4億円の自己資本を積み増し

### 4. 数値目標

(単位：百万円)

	平成27年度 (実績)	平成28年度 (計画)	平成29年度 (計画)	平成30年度 (計画)
売上高	10,765	10,450	10,310	10,460
経常利益	168	150	210	260
当期純利益	▲278	160	160	170
有利子負債	14,145	14,040	13,290	12,440

以上